

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み	
								環境	社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

ESGの取り組み

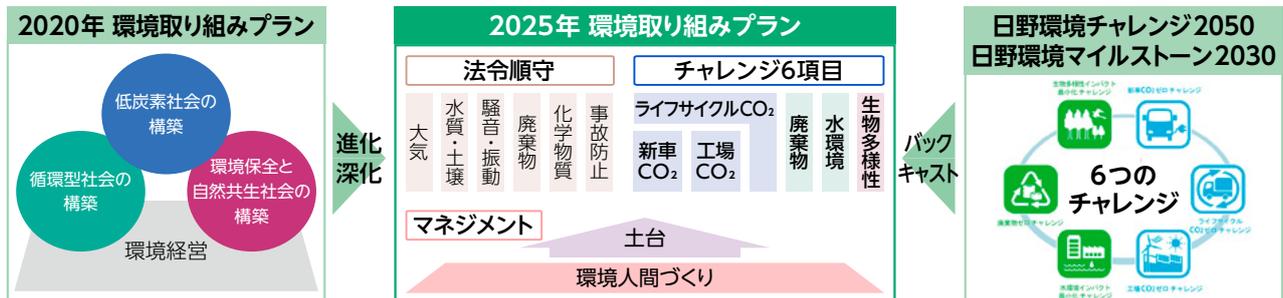
Environment(環境)

環境取り組みプラン(5カ年実行計画)

日野自動車では、社の基本理念や日野地球環境憲章などの上位方針、社会動向を踏まえた長期的なビジョンを具現化するためのアクションプラン「環境取り組みプラン」を策定し、環境負荷低減活動に取り組んでいます。1993年に第1次「環境取り組みプラン」を策定し、以降5年ごとに目標を見直し実行してきました。

本年度、新たな5カ年実行計画である「2025年環境取り組みプラン」を策定しました。本プランでは、「日野環境チャレンジ2050」および「日野環境マイルストーン2030」のバックキャストと、「2020年環境取り組みプラン」のPDCAから、『環境チャレンジ6項目』・『法令順守』・『マネジメント』を3つの柱に設定しました。カーボンニュートラルを代表とした地球規模の課題に向き合い、サステナブルな社会の実現に貢献するため、チーム日野一丸となって取り組みます。

◆「環境取り組みプラン」の体系



2020年 環境取り組みプラン		
低炭素社会の構築	製品	● 車両CO ₂ /燃費性能の向上 ● クリーンエネルギー車開発の推進
	生産・物流	● 生産活動におけるCO ₂ 排出量の低減 ● 物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減
	販売・アフター	● 販売分野におけるCO ₂ 排出量の低減
循環型社会の構築	製品	● 希少資源を使用しない技術開発 ● リサイクル率を考慮した新型車の開発
	生産・物流	● 生産・物流における廃棄物の低減と資源の有効利用 ● 生産活動における水使用量の低減 ● 物流活動における梱包包装資材の低減と資源の有効利用
共生社会の構築 環境保全と自然	製品	● 各地域の都市大気改善(排ガス低減) ● 環境負荷物質のさらなる削減
	生産・物流 社会貢献	● 生産活動における環境負荷物質(VOC)低減 ● 各地域・事業所に根差した生物多様性保全活動
環境経営	マネジメント	● 連結環境マネジメントの強化、推進 ● ビジネスパートナーと連携した環境活動推進資源の有効利用 ● グローバル社員教育・啓発活動の強化 ● 環境情報積極開示とコミュニケーションの充実

2025年 環境取り組みプラン		
環境チャレンジ6項目	ライフサイクルCO ₂ ゼロ	目標：13年度比 ▲12% (単位輸送量あたり) ● 「つくる・運ぶ・使う・廃棄する」全プロセスでCO ₂ 排出量削減(各国・各業界との連携)
	新車CO ₂ ゼロ	目標：13年度比 ▲15% (単位輸送量あたり) ● 電動化車両の開発、市場導入 ● ディーゼル燃費の向上 ● 輸送効率の向上
	工場CO ₂ ゼロ	目標：13年度比 ▲30% (グローバル総排出量) ● 革新技術の導入 ● 日常の改善 ● 再生可能エネルギーの導入
	水環境インパクト最小化	● 使う水は少なく ● 還す水はきれいに
	廃棄物ゼロ	目標：18年度比 ▲12% (グローバル総排出量) ● 廃棄物ゼロに向けた削減 ● 古い車を活かした新しい車づくり (Car to Car) ● 梱包包装資材、包装プラスチック材の削減
	生物多様性インパクト最小化	● 緑と水の保全、自然と共生する工場づくり
法令順守	大気	● 製品・生産における大気汚染防止の対応
	水質・土壌	● 生産における排水管理、地下浸透防止 ● 土地取引や変更時の汚染拡大防止
	騒音・振動	● 製品・生産における騒音・振動の低減
	廃棄物	● 廃棄物の適正管理
	化学物質	● 製品・生産での化学物質管理、負荷物質低減
	事故防止	● 環境事故未然防止(違反・苦情、異常・申入れゼロを目指す)
マネジメント	● 環境人間づくり(環境経営の発信と社内教育)	

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み
								環境 社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン 低炭素社会の構築



取り組み項目	計画内容・目標等	2016～2020年の実績／今後の課題
製品	車両CO₂／燃費性能の向上 <ul style="list-style-type: none"> 世界トップクラスの燃費水準の達成を目指した技術開発 <ul style="list-style-type: none"> 【日本】 <ul style="list-style-type: none"> 次期規制に向けた燃費向上技術の開発 HEVの性能向上 【米国】 <ul style="list-style-type: none"> 2020年のGHG規制に向けた技術の開発 【欧州】 <ul style="list-style-type: none"> 次期規制に向けた燃費向上技術の開発 	<ul style="list-style-type: none"> 「日野プロフィア」にAIを活用した世界初のハイブリッドシステムを搭載し、従来の日野プロフィアよりも燃費向上とCO₂排出を低減 いすゞ自動車と共同で高燃費の国産初ハイブリッド連節バスを開発し、大量輸送効率化を実現 コネクティッドサービス「HINO CONNECT」の提供開始、省燃費サポートツールのエコツリーレポートなどにより、お客様のエコドライブをサポート
	グリーンエネルギー車開発の推進 <ul style="list-style-type: none"> 電動化車両の研究開発 <ul style="list-style-type: none"> 【FCEV】・FCEVの開発及び限定発売 【BEV】・トラック、バスの実用化に向けた研究、開発 代替燃料対応技術の研究推進 <ul style="list-style-type: none"> バイオ燃料、その他代替燃料への対応技術開発 	<ul style="list-style-type: none"> トヨタ自動車と開発したFCEV路線バス「SORA」を市場導入、東京都で運行開始 (今後の課題) 志を同じくする同業／異業の仲間とのアライアンスにより電動車両開発を加速し、BEV・FCEVの早期市場導入・普及を目指す
生産・物流	生産活動におけるCO₂排出量の低減 <ul style="list-style-type: none"> 低CO₂生産技術の導入と日常改善による原単位、総量双方でのCO₂低減活動 省エネ革新技術及び再生可能エネルギーの導入 <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 【グローバル】 <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量／2008年度比 26%低減 【国内連結】 <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量／2008年度比 24%低減 【自社】 <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量／2008年度比 30%低減 排出量／2020年度原単位目標×活動量 <ul style="list-style-type: none"> CO₂以外の温室効果ガスの管理 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ革新技術の導入でCO₂排出を削減 設備動力源モーターの高効率化、循環水ポンプのインバーター制御化、超音波洗浄機の導入、焼き入れ炉断熱塗料塗布 太陽光発電設備の設置(新田工場、古河工場) (実績)* <p>【グローバル】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量／2008年度比 27%低減 <p>【国内連結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量／2008年度比 28%低減 <p>【自社】</p> <ul style="list-style-type: none"> 台当たり排出量／2008年度比 37%低減 排出量／2020年度排出量 158千t <p>(今後の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 中長期目標達成に向けて更なる技術確立を行いCO₂削減実施、併せて再エネ外部購入を推進
	物流活動における輸送効率の追求とCO₂排出量の低減 <ul style="list-style-type: none"> 輸送効率の一層の改善によるCO₂低減活動の推進 工場間物流ルート見直し及び積載率向上、トレーラー輸送による効率化 低燃費車両の採用 補給部品輸送の効率化 <p>〈目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 【国内連結】 <ul style="list-style-type: none"> 輸送量当たり排出量／2008年度比 26%低減 【海外】 <ul style="list-style-type: none"> 各国トップレベルの活動推進 	<p>〈工場間物流効率化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 積載車の効率輸送(完成車) 生産地コンテナ詰めによる拠点間輸送の削減 海上コンテナ継続使用の推進 (実績) <p>【国内連結】</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送量当たり排出量／2008年度比 28%低減 工場移転の影響を把握し低減活動継続 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各国個別に低減活動推進中 <p>〈物流業界の輸送効率化〉</p> <ul style="list-style-type: none"> NEXT Logisitcs Japan社での荷主・運送事業者車両メーカーの垣根を超えた、最適な混載パターン、荷物マッチング追求の事業化を19年12月に開始し、輸送効率化によりCO₂排出を低減(第22回物流環境大賞「特別賞」を受賞)
販売・アフター	販売分野におけるCO₂排出量の低減 <ul style="list-style-type: none"> 国内販売拠点における年率1%以上の計画的なエネルギー原単位の低減 お客様のCO₂排出量低減支援 	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ型照明の導入などにより削減 総整備台当たりエネルギー原単位／2015年度比 9.6%低減

*報告値、派生値、および入手可能なデータから算出された推定値です。実際の排出量は異なる可能性があります。

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み	
								環境	社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン 循環型社会の構築



取り組み項目	計画内容・目標等	2016～2020年の実績／今後の課題	
製品	希少資源を使用しない技術開発	● 排出ガス低減触媒の貴金属低減 ● 軽油によるNOx選択還元反応を用いたディーゼル排気浄化システムを開発 →2020年度触媒学会賞(技術部門)を受賞 (受賞理由) ディーゼル排出ガス低減による大気環境改善と、長年の研究開発による本分野の技術発展への貢献	
	リサイクル率を考慮した新型車の開発	● 解体性を考慮した取り付け構造への取り組み ● リサイクルを考慮した、解体が容易な設計構造採用 ● 車体軽量化による資源の有効利用に寄与	
生産・物流	生産・物流における廃棄物の低減と資源の有効利用	● 廃棄物低減技術の導入と日常改善活動における低減活動の推進 ● 歩留り向上等、発生源対策による資源有効活用促進 ● 日野グループ内での資源活用推進 <目標> 【国内連結】 ・台当たり発生量／2008年度比 43%減 ・最終処分量ゼロ* 【海外】 ・排出量低減につながる管理(数値管理) *焼却灰も含めた埋立処分量が、廃棄物等総排出量(廃棄物量+リサイクル量)の0.5%以下	● 廃棄物分別徹底、廃プラスチック有価物化 ● 塗料カスの自動回収装置導入(羽村工場) ● 製品不良率、再試験回数削減(新田工場) ● 国内関連会社への再生砂売却(新田工場) <実績> 【国内連結】 ・台当たり発生量／2008年度比 41%低減 ・最終処分量比率／0.11% ・過去 市場変化により有価物が廃棄物に変更となり、原単位が悪化。2020年度までに挽回したものの目標未達。今後、早期に計画を見直し、更なるリサイクル化の推進等、低減活動を継続 【海外】 ・廃棄物／各国個別に目標設定し低減推進
	生産活動における水使用量の低減	● 各国各地域の水環境事情を考慮した水使用量低減活動の推進 ● 省水技術の導入と日常改善による節水推進 <目標> 【国内連結】 ・台当たり使用量／2008年度比 40%減 【海外】 ・排出量低減につながる管理(数値管理)	● 地下埋設配管修繕、漏水対応 ● ドライブスの導入(古河工場) ● 塗装ライン洗浄排水再利用(古河工場) <実績> 【国内連結】 ・台当たり使用量／2008年度比 38%低減 ・2020年度は生産台数減少により原単位が悪化し目標未達。今後は生産変動の影響を受けにくい、無駄のない工程作りを目指し、循環利用を含む節水活動を推進 【海外】 ・各国個別に目標設定し低減推進
	物流活動における梱包包装資材の低減と資源の有効利用	● リターナブル化、包装材の軽量化による梱包包装資材の低減 ● リターナブルラック使用対象国、範囲拡大 ● 補給部品梱包方法の見直し <目標> 【国内連結】 ・台当たり使用量／2008年度比 57%減 【海外】 ・梱包資材使用量の把握と低減活動拡大	● 木枠材から段ボール材へ変更 ● 段ボールをリターナブルBOXに変更 ● 梱包充填率を上げて段ボール使用量削減 <実績> 【国内連結】 ・出荷容積当たり使用量／2008年度比 72%低減 →今後は、さらなる低減活動を推進 【海外】 ・各国個別に低減活動推進中

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン 環境保全と自然共生社会の構築



取り組み項目	計画内容・目標 等	2016～2020年の実績／今後の課題
製品	<p>各国各地域の都市大気環境改善に資する排ガス低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各国、各地域の大気環境改善に資する排出ガス車の導入 <p>【日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年排ガス規制対応車の市場導入 ・平成28年以降の次期排ガス規制の対応技術の研究開発 <p>【米国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・US13適合車の市場導入および、US16に向けた開発の推進 <p>【欧州・先進国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・EURO6の開発と市場導入 <p>【一般国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低排出ガス車(EURO4・5レベル)の導入推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●小型トラック「日野デュトロ」、小型バス「日野リエッセII」、大型トラック「日野プロフィア」トラクターシリーズ等を一部改良
	<p>環境負荷物質のさらなる削減</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各国の規制物質の増加に伴う情報の収集、管理と代替材料への先行切り替え 	<ul style="list-style-type: none"> ●規制物質の増加に早期に対応すべく、部品含有化学物質の情報収集を実施 ●グローバルでの化学物質管理体制の強化・推進
生産・物流	<p>生産活動における環境負荷物質(VOC)の低減</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日常改善によるVOC低減活動を継続的に推進 ●塗装工程における塗料、シンナー使用量低減等 <p>〈ボデー塗装目標〉</p> <p>【日野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗装面積当たりVOC排出量／22g/m² <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・VOC排出量低減活動を展開 <p>〈その他塗装目標〉</p> <p>【日野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年1年単位の低減目標設定 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量低減につながる管理(数値管理) 	<ul style="list-style-type: none"> ●塗装吹付け時の塗着効率の向上 ●色替え時・清掃時の洗浄シンナー回収 ●自動塗装時の塗装範囲の適正化 <p>〈実績〉</p> <p>【日野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塗装面積当たりVOC排出量／15g/m² →今後、塗装設備改装計画と連動した取り組みと日常改善によるVOC低減を継続的に推進 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・排出量の定量管理とトレンド管理による増減要因分析を実施
社会貢献	<p>各地域・事業所に根差した生物多様性保全活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生物多様性ガイドラインに基づく取り組み推進 ●各国、各地域の周辺生態系特性に配慮した体系的活動(森林保全、在来種保護等) ●地域の住民や子どもと共に取り組む環境保全活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●各国、各地域で周辺生態系に配慮した取り組み実施 <p>【日本】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の団体/自治体と連携した崖線整備(羽村工場) ・ヤギによる除草(古河工場) ・日野自動車70周年の森管理/生き物観察会開催 <p>【海外】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場敷地等で植樹実施(タイ、インドネシア、パキスタン、フィリピン等) ・近隣の学校にて学習会の開催(パキスタン)

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み
								環境 社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2020年 環境取り組みプラン **環境経営**

取り組み項目	計画内容・目標等	2016～2020年の実績／今後の課題
マネジメント	連結環境マネジメントの強化、推進 【国内外連結子会社】 <ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域でNo.1の環境パフォーマンス確保に向けた活動の実施 ● 各国、各地域での環境法令の順守と環境リスク未然防止活動の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ● 国内外関連会社の環境パフォーマンスおよび改善事例をレポートへまとめ定期発行 ● 日野製品のライフサイクル全体を考慮した環境マネジメント、環境リスク未然防止活動の要請 ● 海外関連会社の活動事例・データ等のクラウド管理、活動レベル自己評価ツール運用 ● 今後もさらなるレベルアップを目指し、継続して研鑽会や監査会等を開催
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進 (サプライヤー) 【仕入先】 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境法令順守と部品、原材料、副資材、生産設備等に含まれる環境負荷物質の管理充実および環境パフォーマンス向上の要請 	<ul style="list-style-type: none"> ● ライフサイクルにおける環境負荷物質の管理および環境パフォーマンス向上に取り組み、特に地球温暖化の観点からカーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを実施 ● 個社ごとに環境アンケートを実施し、環境負荷物質管理と取り組みの現状を共有 ● グローバルな環境法令の動向をにらみ、環境負荷物質に対する社内管理体制を強化・運用を開始 ● 「グリーン調達ガイドライン」を改訂 サプライヤーへ環境への配慮・協力を要請順守状況や環境パフォーマンス状況等を定期的に確認実施
	ビジネスパートナーと連携した環境活動の推進 (販売店、ディストリビューター) 【国内販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 販売会社環境マネジメントシステムによる環境活動の推進 【海外販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷の把握と意識啓発による負荷低減活動の実施 	【国内販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 新設2拠点含む全国223拠点にて環境改善活動を実施 ● 改善・是正を支援し、全国223拠点にてEMD認定済み 【海外販売】 <ul style="list-style-type: none"> ● 海外非生産拠点との月次データ共有 ● 環境月間(6月)に合わせ意識啓発活動を実施
	<ul style="list-style-type: none"> ● 従業員向け階層別環境教育 ● 意識啓発活動の体系的な実践 	<ul style="list-style-type: none"> ● ISO内部環境監査教育を実施 ● 環境月間(6月)に社長メッセージを展開 ● 今後も従業員参加型イベント企画等、環境意識向上に向けた取り組みを積極推進
	環境情報の積極的開示とコミュニケーションの充実 <ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域での製品環境技術情報の提供充実(各種展示会への出展等) ● 各国、各地域でのサステナビリティレポート等の発行による情報公開の充実および環境コミュニケーション活動の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境に係る取り組みや新技術にかかわるトピックスをニュースリリースで積極発信 ● 米国日野が「プロジェクトZ」を発表 — 米国におけるゼロ・エミッションへの道のり ● 燃料電池大型トラックの走行実証を2022年春頃より開始 ● 水素バリューチェーン推進協議会へ参画 ● トヨタ・日野が燃料電池小型トラックの導入を目指した取り組みを開始 ● 「日野プロフィア ハイブリッド」経済産業大臣賞(輸送分野)受賞 ● 毎年公式ホームページにサステナビリティレポートを発行し、情報および環境推進活動の成果を公開

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み
								環境 社会 企業統治 ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標 等	
環境チャレンジ6項目	ライフサイクル CO ₂ ゼロ チャレンジ	<p>目標：13年度比 ▲12% (単位輸送量*あたり) ※1トンの荷物を1km or 1人を1km輸送する際のCO₂排出量</p> <p>「つくる・運ぶ・使う・廃棄する」すべてのプロセスでCO₂排出量削減 (各国・各業界との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●つくる (素材、部品、燃料製造) <ul style="list-style-type: none"> …車両生産は工場CO₂で取り組み ・材料使用量削減、部品点数削減 ・低CO₂材料の開発・使用拡大 ・リサイクル材料使用拡大 ・サプライヤー含めステークホルダーの協力を得た削減活動 ・各国政府・燃料業界と連携した再エネ・グリーン水素の普及活動 ●運ぶ (部品物流) <ul style="list-style-type: none"> ・工場間物流や完成車輸送ルート見直し及び積載率向上 ・トレーラー輸送による効率化、モーダルシフト ・補給部品輸送の効率化 ●使う …新車CO₂における取り組み ●廃棄する (含む メンテナンス) <ul style="list-style-type: none"> ・販社でのHEV・BEV社用車、LED化によるCO₂削減 ・販社拠点の再エネ発電設備の導入、再エネ電力の購入 ・環境配慮設計の実施 (「解体し易く、リサイクルし易い」設計) 	
	新車CO ₂ ゼロチャレンジ	電動化車両の開発、導入	<p>目標：13年度比 ▲15% (単位輸送量あたり)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電動化車両の技術開発と市場導入 <ul style="list-style-type: none"> ・FCEV：FCEVの開発及び大型FCEVトラックなどの実証実験 ・BEV：BEVの開発および <ul style="list-style-type: none"> 小型BEVトラック「日野デュトロ Z EV」、 小型BEVバス「日野ポンチョ Z EV」などの市場導入
		ディーゼル燃費の向上	<ul style="list-style-type: none"> ●各国の新たな燃費規制に対応する技術開発と市場導入 <ul style="list-style-type: none"> ・日本：JH25規制に対応する技術の開発と市場導入 ・米国：EPAおよびCARB2024に対応する技術の開発と市場導入 ・欧州：次期規制に向けた燃費向上技術の開発推進 ●代替燃料対応技術の研究推進 <ul style="list-style-type: none"> ・カーボンニュートラル燃料に対応する技術開発
		輸送効率化への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ●物流業界における輸送効率の最大化 <ul style="list-style-type: none"> ・業種業態を超えた様々な荷物の混積による積載率の向上 ・ダブル連結トラックの活用による大量輸送の実現 ・車両×荷物×ドライバー情報の活用による物流効率化
	工場CO ₂ ゼロチャレンジ	革新技術の導入	<p>目標：13年度比 ▲30% (グローバル総排出量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新車種対応、老朽化更新時の低炭素新技術導入 (例) エアレス塗装、ドライブース 等 ●社外の新技術動向の調査と導入検討
		日常改善の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●日々の改善活動の積み重ねによるCO₂排出低減の最大化 (例) 作業時間の短縮、設備集約、工程寄せ止め 等 ●高効率機器の導入によるCO₂削減 (例) LED、モータ、空調設備 等
		再生可能エネルギーの導入	<ul style="list-style-type: none"> ●自社敷地内 (オンサイト) への太陽光パネル設置促進 ●各国/地域毎の電力事情を考慮した最適な再生可能エネルギー電力 (太陽光・水力発電) への転換

会社情報

トップ
メッセージ

HINO
基本理念

サステナブルな
社会の実現に
向けて

日野の
環境経営

SDGsと
日野の戦略・
取り組み

CSR
マネジメント

トピック

環境

社会

ESGの取り組み

企業統治

ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画)
各種環境データ

2020年 環境取り組みプラン

2025年 環境取り組みプラン

6つのチャレンジ

法令順守

マネジメント

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標 等	
環境 チャレンジ6項目	水環境インパクト 最小化チャレンジ 	目標:水使用の無駄を省いた削減の取り組み(全グローバル工場) 使う水は少なく	<ul style="list-style-type: none"> ● 塗装ドライブース 等、省水新技術の積極導入 ● 水漏れ箇所の修繕や散水、シャワー水量の適正化等、日常改善による節水推進 ● 各国各地域の水環境事情を考慮した水量低減活動と水使用リスク評価の実施
		還す水はきれいに	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国各サイトにおける排水のリスク評価の実施
		目標:18年度比 ▲12% (グローバル総排出量)	
	廃棄物 ゼロチャレンジ 	廃棄物ゼロに向けた削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 革新的な新技術導入検討 例) 廃砂再生設備、(廃プラ 等)燃料化設備 等 ● 日常改善の活動推進 例) 歩留り向上による発生源対策、脱水での減容化 等 ● 有価物化やリサイクル化による削減
		古い車を活かした 新しい車づくり(Car to Car)	<ul style="list-style-type: none"> ● レアメタル、天然資源の回収技術開発 ● リサイクル率向上技術の開発
		梱包包装資材の削減	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用量低減に向けた梱包方法の改善、リターンブル化の拡大 ● 梱包包装資材のプラスチック材の代替化 目標:国内連結 単位容積当たり梱包資材量 18年実績以下
	生物多様性 インパクト 最小化チャレンジ 	目標:「自然と共生」するモデル工場を2拠点設置	
		緑と水の保全、自然と共生する 工場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 緑と水の保全を主とした事業所内外の植樹、希少種保護、河川清掃の活動推進 ● 従業員や地域の学校 等と共に取り組む保全活動の推進 例) 従業員教育、近隣学校との環境学習会 等

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

2025年 環境取り組みプラン

大項目	取り組み項目	実行計画・目標等	
法令順守	大気	製品における大気汚染防止の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● NOx、PM、VOC等の製品における排ガス法令基準値の順守 ● 各国、各地域の大気環境改善に資する低排出ガス車の導入 <ul style="list-style-type: none"> ・日本：14次答申(PN規制)対応車の市場導入 ・米国：EPAおよびCARB2024適合車の市場導入 ・一般国：低排出ガス車(EURO4,5,6レベル)の導入推進 ● 次期規制等にもむけた研究開発の推進
		生産における大気汚染防止の対応	<ul style="list-style-type: none"> ● NOx、PM、VOC等の設備における排ガス法令基準値の順守 ● 塗装工程におけるシンナー回収、塗着効率の向上による、VOC排出量の低減 ● 目標：単位面積当たり排出量 18年実績以下
	水質・土壌	生産における排水管理、地下浸透防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 排水における自主基準値の設定と、監視頻度を増やすことによる排水質の向上
		土地取引や改変時の汚染拡大防止	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規土地購入や売却、賃借時の規定に基づく確認実施 ● 敷地内土地改変時における汚染度合いの把握と届出実施
	騒音・振動	製品における騒音・振動の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 各国、各地域の車両騒音法令順守
		生産における騒音・振動の低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 工場設備や敷地境界での騒音、振動の低減、基準順守に向けた取り組み ● 新規工場や設備導入時の事前検討と導入後の効果確認
	廃棄物	廃棄物の適正管理	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般廃棄物、産業廃棄物の契約締結と適正な委託処理
	化学物質	製品における化学物質管理、負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品に含有する化学物質のデータによる100%管理 ● 素材や部品に使用されている規制物質の確実な切り替え
		生産における化学物質管理、負荷物質低減	<ul style="list-style-type: none"> ● 生産工場で使用する補助材、副資材の禁止物質管理 ● 補助材、副資材の使用量低減や代替化による環境負荷低減
	事故防止	事故未然防止(違反・苦情、異常・申入れゼロ)	<ul style="list-style-type: none"> ● 過去事象の要因解析による日野グループ内各拠点への横展 ● 環境人間づくりによる液物取扱い作業等の標準化
マネジメント	環境人間づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境人間づくりのルール化と各工場への展開 ● 従業員に向けた階層別の環境教育の実施、人材育成の推進 ● 意識啓蒙活動の体系的な実践 	

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



CHALLENGE! 1 新車CO₂ゼロチャレンジ

日野自動車の製品環境技術

既存技術の向上

トラック・バスは、たくさんの人、荷物をより速くに運ぶことが使命です。そのためには、燃料やエネルギーを必要とします。その結果として、地球温暖化ガスのひとつであるCO₂を排出することは避けて通れません。

また、トラック・バスの特徴として、車の大きさ(積載量)、移動距離、使用場所・用途が多種多様です。日野自動車は、これらの使われ方に対して、どのような環境技術がふさわしいのかを考え、最適な車両を提供することにより、地球温暖化防止に貢献しています。

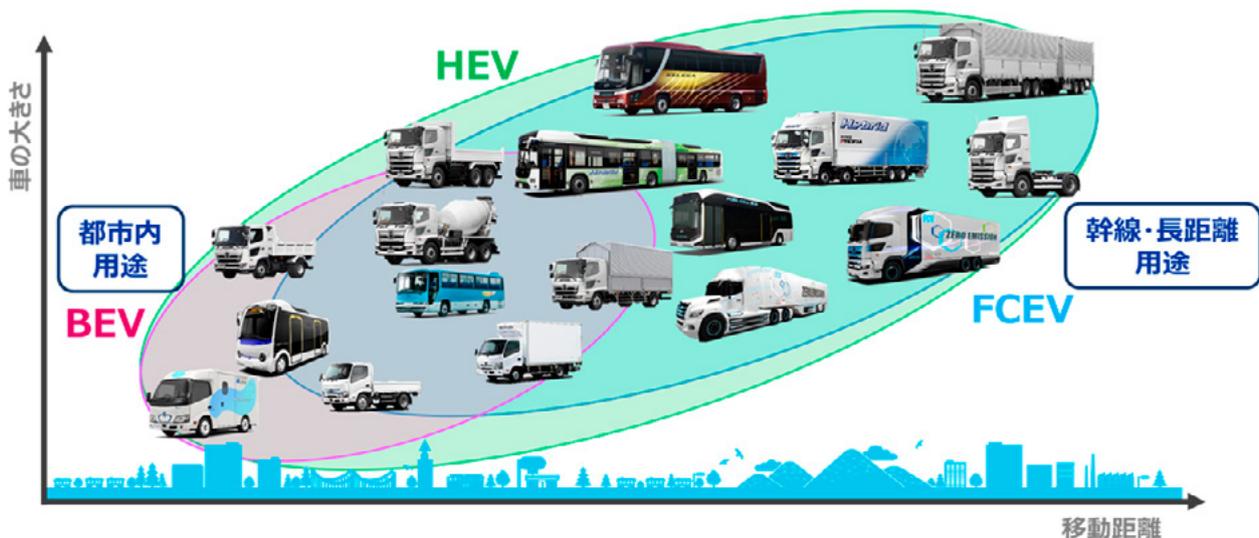
次世代車への取り組み

次世代の車 既存技術の向上 効率化

日野自動車は、クリーンな排出ガスや静粛性といった電動車ならではのメリットを活かし、お客様・社会のニーズにお応えする次世代の車づくりに取り組んでいます。

まずは小型トラックや小型バス、路線バスなどの都市内用途を中心に開発を進めています。

今後も、バッテリーをはじめとする関連技術の発展とあわせて車両としての開発を進めるとともに、関係機関と連携し、充電設備や水素ステーションなどのインフラ整備といった社会基盤などを強化して、すべての車種へ普及を目指していきます。



CO₂排出量90%削減に向けた取り組みについてはこちら

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

環境技術事例 (今後実用化を予定しているもの、実証実験予定のもの)

次世代の車

◆ BEV (電気自動車)

● 小型BEVトラック

「超低床・前輪駆動」のBEVを開発。従来の後輪駆動車と比べて床面地上高は半分、ワンステップで乗降可能な超低床構造を実現し、荷役作業性や乗降性を大幅に向上させました。

さらにウォークスルー構造で宅配現場での使い勝手の良さも追求しています。



● 小型BEVバス

あらゆる人に優しいユニバーサルデザインとコミュニティバスに最適なパッケージングという「日野ポンチョ」の特長そのままに、EV化によりクリーンな輸送を実現します。「人」と「環境」へのやさしさを叶える、これからの持続可能なコミュニティ交通に貢献するモデルです。



◆ FCEV (燃料電池車)

● 大型FCEVトラック

幹線輸送に使われる大型トラックは、十分な航続距離と積載量、短時間での燃料供給が求められます。その電動化においては、エネルギー密度の高い水素を燃料とする燃料電池システムが有効であると考えており、今回開発するFC大型トラックは、航続距離の目標を約600kmとし、環境性能と商用車としての実用性の高次元での両立を目指しています。



● 大型FCEVトラック(北米向け)

新型HINO XLシリーズのシャーシをベースに、トヨタの燃料電池技術を組み合わせ、CO₂を排出せずに走行する高性能な大型トラックを開発します。



会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

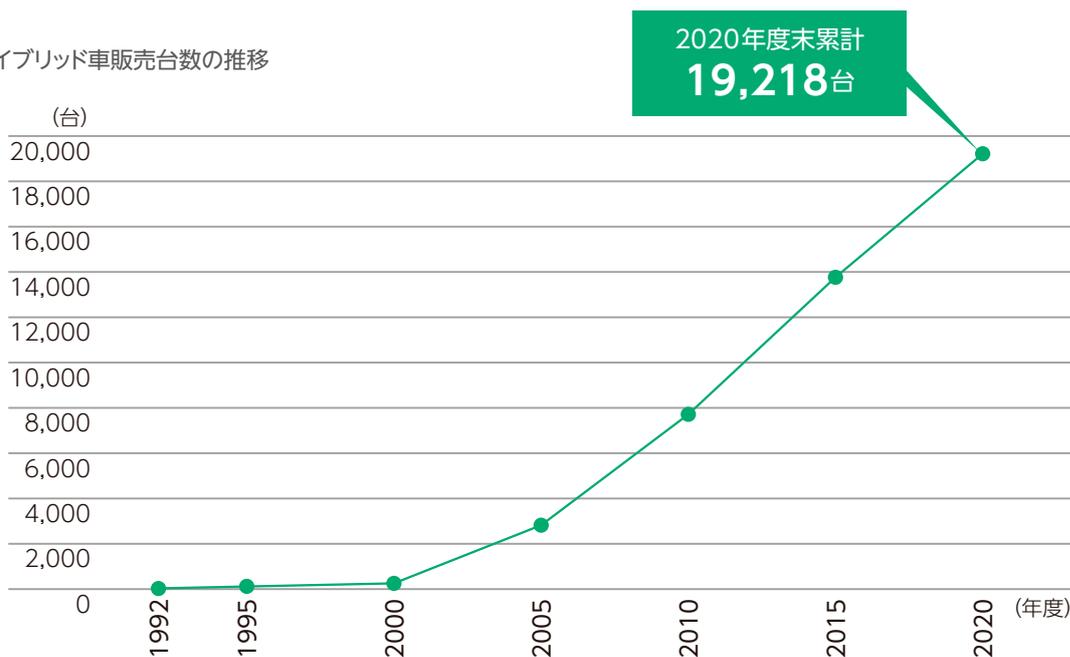
環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

ハイブリッド車の展開

次世代の車 既存技術の向上 効率化

日野自動車は1991年、世界で初めてハイブリッドバスを商品化・販売して以来、ハイブリッド車両のグローバル販売累計台数は2020年度末に19,000台を超えました。

● ハイブリッド車販売台数の推移



日野300シリーズ(海外向け)



日野ブルーリボン ハイブリッド連節バス



日野プロフィア ハイブリッド

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



CHALLENGE! 2 ライフサイクルCO₂ゼロチャレンジ

LCAを取り入れた製品環境マネジメント

素材 物流 廃棄・リサイクル

自動車は新たな規制への対応や性能向上にともない、製造段階の環境負荷が増加する場合があります。そのため、開発段階からライフサイクルの考え方を取り入れた製品環境マネジメントEco-VAS[※]を活用し、さらなる環境負荷削減を目指しています。

※ Eco-VAS(エコバス Eco-Vehicle Assessment System)とは、LCAの考え方を踏まえ、開発初期段階から環境負荷削減目標を設定し、着実に環境パフォーマンスを高めていくための仕組みです



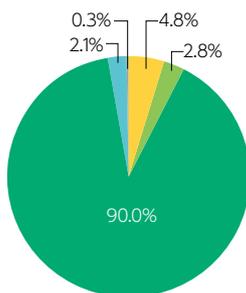
◆LCAの取り組み

トラックなど製品が製造・使用され、最終的に廃棄されるまでのライフサイクルで、環境負荷を定量的に試算するのがLCA(ライフサイクルアセスメント)と呼ばれる分析手法です。日野では2008年よりLCAを取り入れ、順次トラック・バスのライフサイクルCO₂排出量の把握をおこなってきました(各々の結果は下記グラフ参照)。

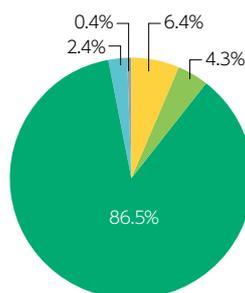
●各モデルのライフサイクルCO₂

■ 素材製造 ■ 車両製造 ■ 走行 ■ メンテナンス ■ 廃棄

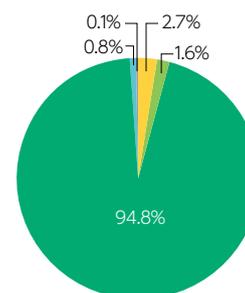
〈小型トラック〉



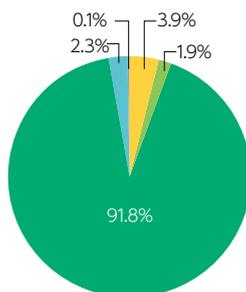
〈小型ハイブリッドトラック〉



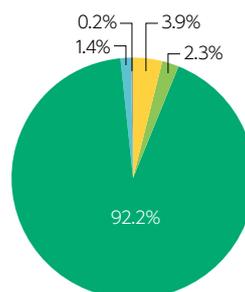
〈中型トラック〉



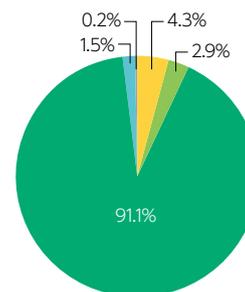
〈大型トラック〉



〈大型観光バス〉



〈大型ハイブリッド観光バス〉



※ グラフは日野独自の計算条件で算出した結果であり、実際の数値とは異なる場合があります。
燃費は重量車モード燃費値を使用しています。評価結果はそれぞれのライフサイクル全体を100%として表しております。

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

物流におけるCO₂排出量の低減事例

物流

◆ 物流におけるCO₂排出量の削減

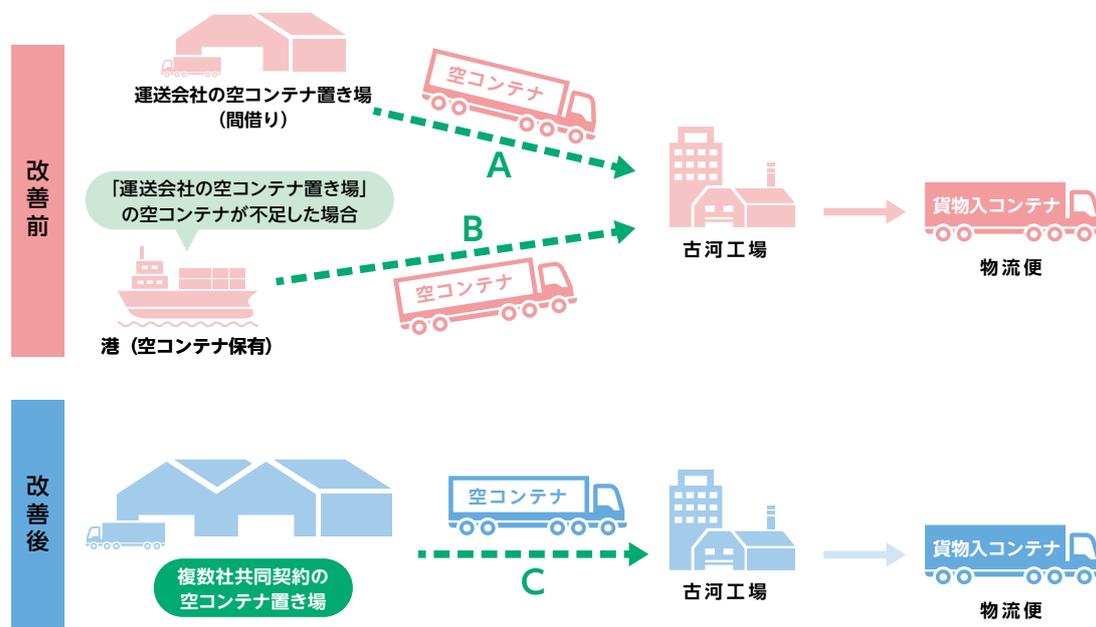
日野自動車では、物流におけるCO₂排出量の削減活動として物流改善会議を中心に以下の切り口から改善を推進しています。

- ① 積載率の向上 (各路線の統合、共同輸送化など)
- ② 物流距離の短縮 (生産地梱包による直送化など)
- ③ 大量輸送化 (増トン車化、トレーラー化など)
- ④ モーダルシフト (船舶輸送化など)

事例 | 他社コンテナ有効活用による物流CO₂排出量の低減

古河工場からの物流便は、通常は「運送会社の空コンテナ置き場」より空コンテナを持ち出し、不足する場合は更に遠方の「港」より空コンテナを運んでいました。

そこで古河工場に近い「複数社共同契約の空コンテナ置き場」から空コンテナを持ち出すようにした結果、空コンテナの輸送距離低減に繋がり、物流CO₂を31.6t-CO₂削減することが出来ました。



古河工場までの距離
B > A > C

空コンテナの輸送距離削減による物流 CO₂
-31.6 t-CO₂/年

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

エコドライブ支援

物流

日野自動車はお客様のエコドライブをサポートし続け、世界中のお客様から信頼される企業を目指します。

◆Pro Shift(機械式自動変速機)によるギヤチェンジサポート

お客様のエコドライブを実現するため、適切なギヤチェンジにより、場面場面に応じた適正なエンジン回転域を保つことが必要です。

Pro Shiftはギヤチェンジを燃費効率が良いグリーンゾーンで自動的に起こすなど、経験の浅いドライバーでも、エコ優良ドライバーのような省燃費走行が可能になります。

 Pro Shiftについてはこちら

●Pro Shiftの主な機能例



◆エコドライブ講習会

日野自動車では国内外のお客様を対象として、環境にやさしくかつ経済的な運転をサポートする目的でエコドライブ講習を開催しています。2020年度は国内で171名、海外28カ国で11,609名、合計11,780名のお客様に受講いただきました。環境に配慮した運転を習得でき、企業収益性も向上するという事で好評をいただいています。

また、羽村工場にある「お客様テクニカルセンター」では、2005年開設以来、2021年3月で累計来場者数が10万1千人に到達しました。

海外では、日野マレーシア販売(株)にあるHTSCC(Hino Total Support Customer Center)を、受講者の増加とお客様の多様なご要望にお応えするため、2017年にさまざまな運転状況を体験できる施設に一新しました。



マレーシアの「日野トータルサポートカスタマーセンター(HTSCC)」



講習の様子(新型コロナウイルス感染症流行前)

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン
各種環境データ その他の活動

6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント

◆エコツリーレポート

日野自動車の製品はお客様のエコドライブをサポートするため、エコにつながる運転をするとアイコンの樹木が成長する「エコツリー」を表示する機能※を搭載しています。

またお客様一人ひとりの運転状況をまとめ、自動解析をおこなった「エコツリーレポート」を無償提供することで、エコドライブ、運行管理などに役立てていただくなど、環境面においてサポートしています。

※ 2010年発売以降(排ガス記号LKG,LDG以降)のプロフィア、レンジャー、セレガに標準対応。2014年発売以降のデュトロハイブリッドに標準対応

 [エコツリーレポートについてはこちら](#)



エコツリー



エコツリーレポート

◆お客様へのお役立ち活動

日野自動車では国内販売会社と協力し、車両の販売にとどまらない「お役立ち活動」を実施しています。「お客様とより深く長くお付き合いする」トータルサポートの考えのもと、省燃費に繋がる知識や運転方法などの「環境対策」に加え、「安全確保」「人材育成」など当社が保有する専門領域を活用しながらお客様の困りごとに寄り添い、問題解決を支援しています。

 [お役立ち活動についてはこちら](#)



お客様向け講習会の様子
(新型コロナウイルス感染症流行前)

エコツリーレポート活用による改善のご提案



デジタルタコグラフではわからない運転状況の詳細がわかります。安全や省燃費に向けた改善のPOINTをご提案します

エコドライブ講習会



燃費向上方法について、運転の実技を習得するとともに、講義により、燃費向上方法の理解を深めていただきます

低公害車向け補助金・融資のご案内



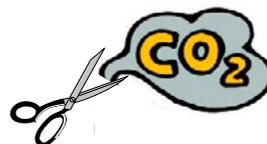
車両購入のご検討に際し、各種の補助金・融資制度をご案内します

グリーン経営認証取得のお手伝い



環境への取り組み姿勢をアピールする手段として認証取得の推進を提唱すると同時に、認証取得のお手伝いをします

CO₂削減のお手伝い



二酸化炭素削減についてのアドバイス(車両選定、エコドライブ、輸送効率)

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

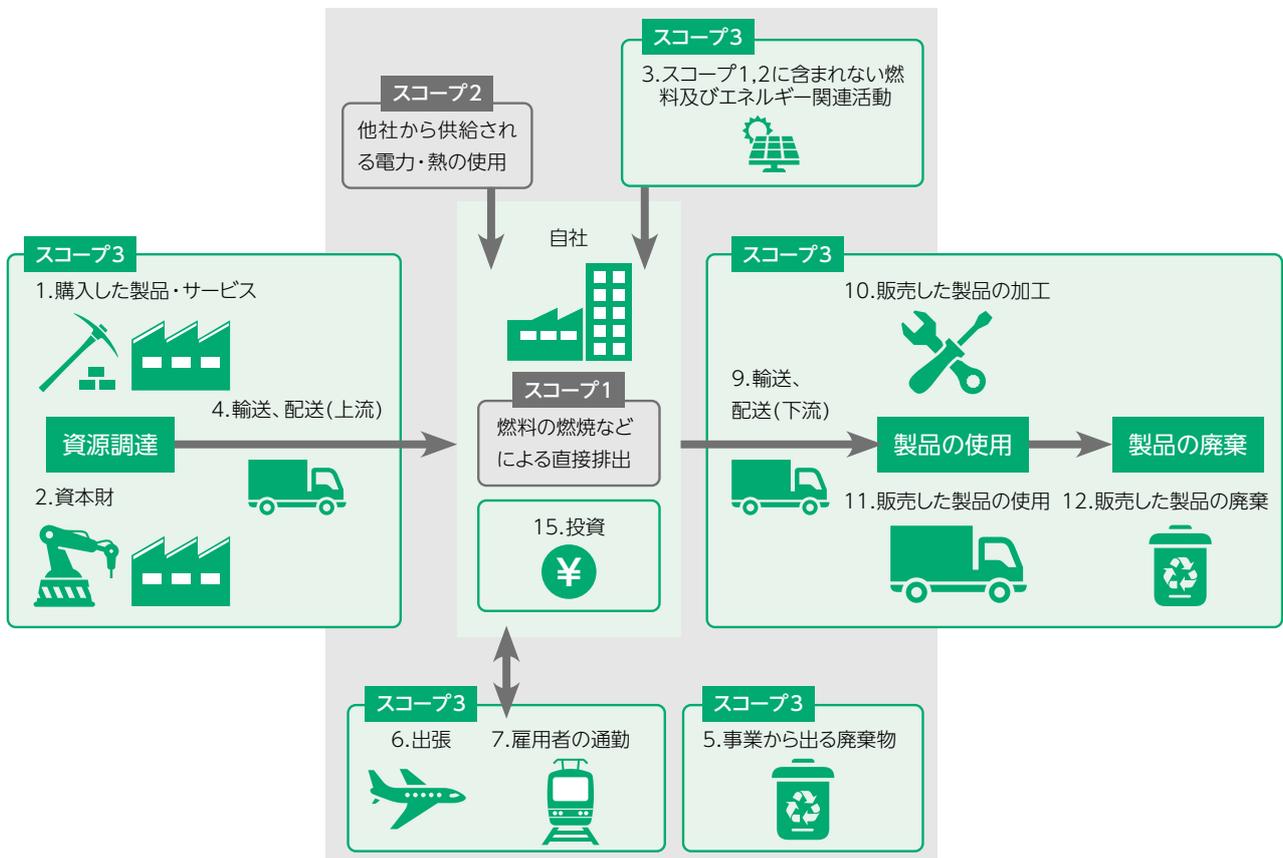
スコープ3への対応

素材 物流 廃棄・リサイクル

企業に対してサプライチェーン全体の温室効果ガス排出量を算出・開示することが社会的に求められています。日野自動車では「温室効果ガス(GHG)報告ガイドライン」に基づき、報告値、派生値、および入手可能なデータを用いてスコープ1、スコープ2に加えてスコープ3の排出量を算出しています。(但し、実際の排出量は異なる可能性があります。)

算出した排出量の比率を見ると「カテゴリー1. 購入した製品・サービス」、「カテゴリー10. 販売した製品の加工」、「カテゴリー11. 販売した製品の使用」を合わせた比率は、約99%を占め、その他のカテゴリーは各々1%未満となりました。今後もサプライチェーン全体でのCO₂排出量の管理を強化するとともに、CO₂削減活動に取り組んでいきます。

	カテゴリー	排出量 (万t-CO ₂)
スコープ1	燃料の燃焼などによる直接排出	12
スコープ2	他社から供給される電力・熱の使用	18
スコープ3	1. 購入した製品・サービス	178
	2. 資本財	15
	3. スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動	6
	4. 輸送、配送(上流)	1
	5. 事業から出る廃棄物	1
	6. 出張	1
	7. 雇用者の通勤	2
	8. リース資産(上流)	0
	9. 輸送、配送(下流)	1
	10. 販売した製品の加工	77
	11. 販売した製品の使用	3,777
	12. 販売した製品の廃棄	5
	13. リース資産(下流)	0
	14. フランチャイズ	0
	15. 投資	2



会社情報	トップ メッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな 社会の実現に 向けて	日野の 環境経営	SDGsと 日野の戦略・ 取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

グリーン調達ガイドライン

日野自動車では、事業活動にかかわる環境の取り組みを一層推進するべく、お取引先様に対して環境への取り組みに関する「グリーン調達ガイドライン」を2021年に、日野環境チャレンジ2050、日野環境マイルストーン2030に基づき、改訂し、世界各国のお取引先様に展開しました。

今後はサプライチェーン全体での環境への取り組みを強化し、積極的な活動を推進していきます。

 「HINOグリーン調達ガイドライン(全ページ)」はこちら



グリーン調達ガイドライン

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) | 2020年 環境取り組みプラン | 2025年 環境取り組みプラン | 6つのチャレンジ | 法令順守 | マネジメント
各種環境データ | その他の活動



CHALLENGE! 3 工場CO₂ゼロチャレンジ

日常改善の取り組み

日常改善

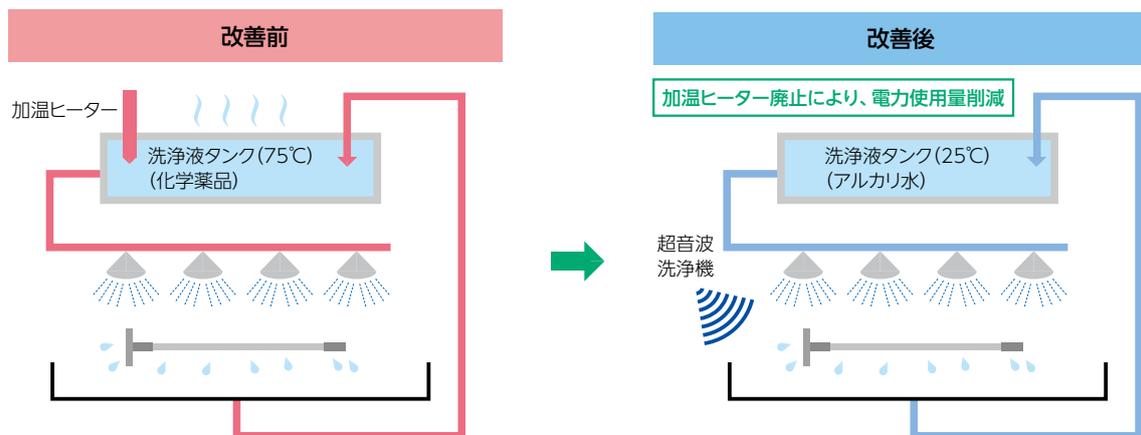
地球温暖化の防止は、人類が直面する課題のひとつであると認識し、すべての生産現場において生産性向上、およびエネルギーのムダを徹底的に省く日常改善に全員参加で取り組み、CO₂排出量の低減に向けた活動を推進しています。2020年度も引き続き、2017年度に策定した長期環境ビジョン『日野環境チャレンジ2050』に基づき、生産活動から排出するCO₂をゼロにする「工場CO₂ゼロチャレンジ」に取り組むなど、日々の省エネ活動を幅広く実施しました。

主な取り組み事例

- 工場照明のLED化
- 構内運搬車両の電動化
- 生産設備の高効率モーターへの置換
- パルスエアブローガン導入

事例 | 超音波洗浄機導入による洗浄水の常温化

機械加工工程では、製品に付着した油分などを洗浄するため、部品洗浄機を使用しています。今までは、薬品が含まれた洗浄剤を加温して洗浄していましたが、常温でも同様の洗浄効果が得られる超音波部品洗浄機(アルカリ水)を導入しました。これにより、加温させるために使っていたヒーターのCO₂排出量を1台当たり5.7t-CO₂/年削減を実現したと同時に、薬品洗浄剤の使用も廃止することができました。



会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

再生可能エネルギーへの取り組み

再生可能エネルギー

日野自動車では再生可能エネルギーに関する取り組みとして、太陽光発電設備を設置しています。発電した電力は生産活動や事務所内の照明、敷地内の外灯などに使用しています。

今後も既存設備の省エネルギーだけでなく、幅広い視野から地球温暖化対策に取り組んでいきます。



新田工場の太陽光パネル
出力約160kW

事例 | 日野モーターズ・マニュファクチャリング・タイランド 工場屋上への太陽光発電パネル設置

日野モーターズ・マニュファクチャリング・タイランド 第3工場の屋上に、出力約500kWの太陽光発電パネルを新たに設置しました。発電した電力は、生産活動や事務所内の照明、敷地内の街灯に使用しています。今後も既存設備の省エネルギー改善のみでなく、再生可能エネルギーも取り入れながらCO₂削減を進めていきます。



工場屋上に設置した太陽光発電パネル

事例 | 水力発電による電力の購入

日野自動車の連結子会社である明友機工(株)は、山梨県と東京電力エナジーパートナー(株)が共同運営する電力供給ブランド「やまなしパワーPlus(プラス)」が提供する「ふるさと水力プラン」の契約を締結しました。同プランは、CO₂を排出しない山梨県営水力発電所で発電された電力を提供するもので、明友機工の本社および石和事業所2カ所でこの電力を利用します。これらを2018年度実績より工場排出CO₂に換算すると年間約260トンの削減となり、工場排出CO₂全体の約89%の削減に相当します。電気料金の一部は、山梨県の環境保全事業などの施策に充てられ地域貢献につながることから、山梨県知事から環境優良企業として表彰を受けました。また20年度も契約を更新し、継続して導入しました。今後はフォークリフトの電動化、そのほかの燃料使用などの削減を目指し、さらなるCO₂削減を進めて『日野環境チャレンジ2050』で公表中の「工場CO₂ゼロチャレンジ」に向けて活動を推進していきます。



受賞の様子

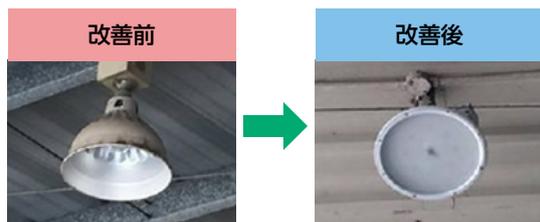
会社情報	トップ メッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな 社会の実現に 向けて	日野の 環境経営	SDGsと 日野の戦略・ 取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

事例 | 工場内照明のLED化

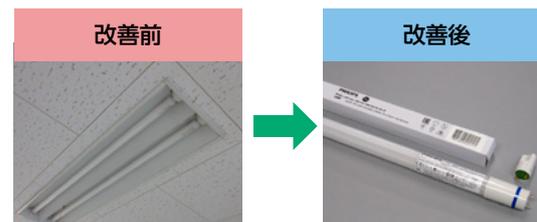
各国でも積極的にLED化を推進中。

●日野モータース・ベトナム



削減量
1.5
t-CO₂/年

●日野モータース・マニファクチャリング・タイランド



削減量
5.7
t-CO₂/年

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



CHALLENGE! 4 水環境インパクト 最小化チャレンジ

工場における節水の取り組み

少なく きれい

トラック・バスを製造するのに水はなくてはならないものです。それだけに貴重な水資源を有効活用すべく、日野自動車は長期環境ビジョン「日野環境チャレンジ2050」を策定し、日々の水使用量低減に取り組んでいます。今後も「水環境インパクト最小化チャレンジ」達成に向け、身近な範囲にも目を向けた節水活動に取り組んでいきます。

主な取り組み事例

- 節水パトロールによる無駄な使用(漏れ・オーバーフロー〈垂れ流し〉)の撲滅
- 節水への啓発活動(ポスターによる呼びかけなど)
- 雨水および排水処理場処理水の有効利用

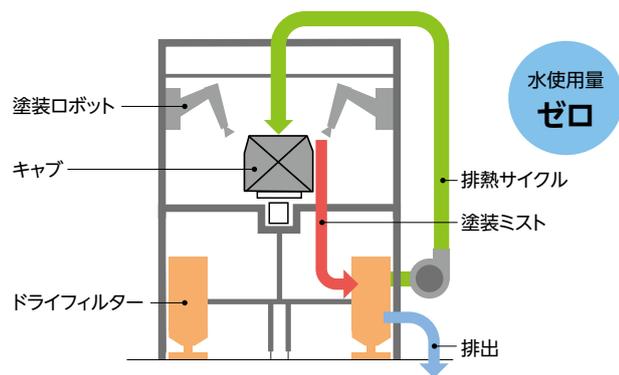
事例 | 水を使わない塗装ミスト回収技術の導入

古河工場のキャブ塗装工程にて環境負荷低減に対応した塗装設備「ドライブース」を導入しました。従来方式では塗料ミストを水膜で除去したうえで薬品を使用して塗料を回収していましたが、新方式としてフィルターと炭酸カルシウムを使用し、水や薬品を使用しないシステムとしました。

ドライブースの構造



ドライブースの仕組み



会社情報	トップ メッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな 社会の実現に 向けて	日野の 環境経営	SDGsと 日野の戦略・ 取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



CHALLENGE! 5 廃棄物ゼロチャレンジ

工場における省資源事例

廃棄物を出さない

日野自動車では、長期環境ビジョン『日野環境チャレンジ2050』に向けた活動のひとつとして、廃棄物低減にも取り組んでいます。近年では、これまで再利用することのできなかったものについても徹底的に見直しをおこない、社内での再利用に努めています。

主な取り組み事例

- 排水処理場汚泥の減容化
- 鋳型造型時の砂使用量低減
- ろ過フィルター設置による機械加工廃液のロングライフ化
- 分別ルールの徹底

事例 | 廃棄物分別トレーニング

日野モータース・マニュファクチャリング・コロンビアでは、従業員に対して廃棄物の種類をより理解するため、実際の廃棄物を使って分別のトレーニングを行っています。



トレーニング風景

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

事例 | プラスチック削減に向けた活動①

昨今の社会的問題を受け、各国でプラスチックゴミ撲滅活動を推進しています。日野モーターズ・マニファクチャリング・タイランドでは、「Say No Plastic」をスローガンに、全従業員に対し、「レジ袋を貰わない」「飲食時のカップ・容器も極力使用しない」活動を実施。各自の成果に応じ、エコバッグやマイカップをプレゼントし、活動を促進しています。また、脱梱包の一環として、各国でも、プラスチック製の袋を削減するなど、身近でできる活動を着実に推進しています。



プラスチックゴミ撲滅活動のポスター



活動に取り組む社員

事例 | プラスチック削減に向けた活動②

日野モーターズ・マニファクチャリング・タイランドでは、脱梱包の一環として、足回り部品(ショックアブソーバー)に使用するプラスチック袋の個包を廃止し、専用箱を製作しました。身近でできる活動を着実に推進しています。

改善前



一つひとつ梱包して搬出

改善後



専用箱を製作し、個包を廃止

削減数
544
袋/月

VOICE



全従業員一丸となった
脱プラスチック活動

日野モーターズ・マニファクチャリング・タイランド
工場長

Paradorn Siripunt

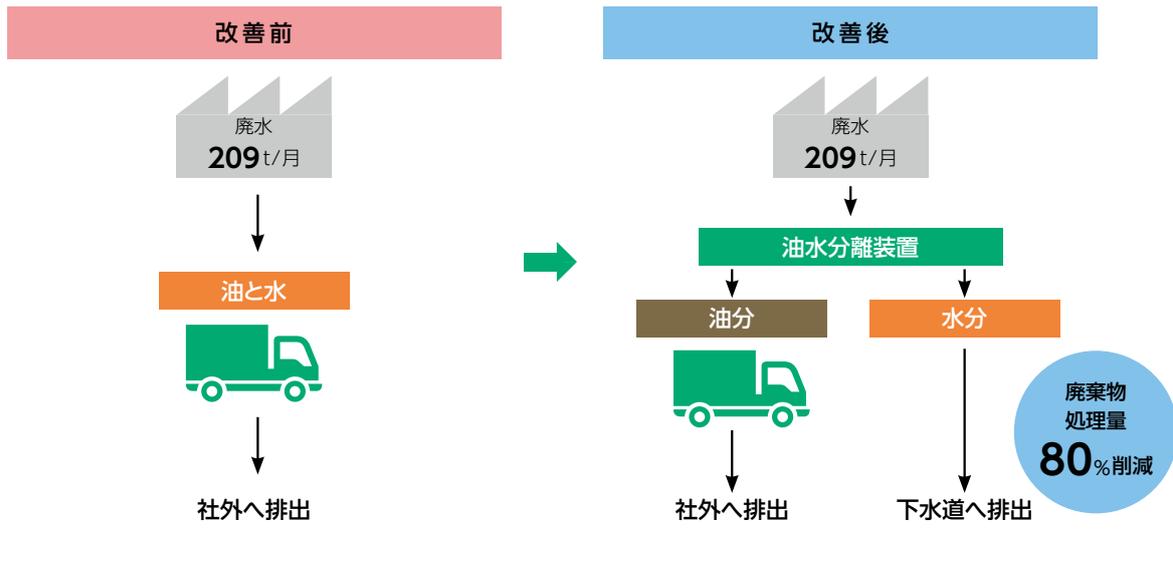
CSR活動の一環として、従業員とその家族、近隣住民やNPOなどの諸団体とも連携し、環境保全活動に努めています。昨今、世界中で問題視されているプラスチック問題に対し、Say No Plasticをスローガンに、全従業員と一緒に、日常生活で取り組みました。私たちは、タイのフロントランナーとして、地球環境をより良くしていきます。

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

事例 | 油水分離槽設置による汚水の削減

日野モータース・マニファクチャリング・U.S.A.では、工場から排出される含油排水を廃棄処理していましたが、油水分離槽を設置したことにより、油分と污水に分離することができ、年間廃棄物処理量を80%削減しました。



リサイクル性を考慮した製品設計

廃棄物を出さない

新しい車づくり

日野自動車は1990年代初頭より、リサイクル性を考慮した製品開発、設計に取り組んでいます。1998年には「自主行動計画」を策定し、リサイクル率などの具体的な数値を掲げ、活動の強化を図ってきました。また近年の国内外の環境負荷物質規制に対応すべく、早期の削減に取り組んできました。

製品の開発段階からリサイクルしやすい材料の採用や、部品への材質マーキング、解体マニュアル整備など、さまざまな観点からリサイクル性を高めるチャレンジを進めています。

また近年の国内外の環境負荷物質規制に対応すべく、製品含有化学物質について、全部品の情報収集と早期の削減に取り組んでいます。

再資源化段階での環境活動

廃棄物を出さない

新しい車づくり

日野自動車は、2005年から施行された自動車リサイクル法(使用済自動車の再資源化等に関する法律)を順守し、多くの関係事業者のご協力のもと、使用済みの車両から発生するシュレッダーダスト(以下ASR)、エアバッグ類、フロン類の特定3品目の引き取りと適正なリサイクル処理を実施しています。

2020年度のASRのリサイクル率は95%となり、法定基準70%を達成しています。また、より解体しやすい車両構造の検討やリサイクル可能材料の採用など、開発段階から環境に配慮した製品づくりを進め、循環型社会の形成と資源の有効活用に継続的に取り組んでいます。

「自動車リサイクル法に基づく再資源化等の実績」はこちら

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動



CHALLENGE! 6 生物多様性インパクト 最小化チャレンジ

生物多様性への配慮

生物を守る

日野自動車は経団連「生物多様性宣言」に賛同しており、5カ年中期計画である『環境取り組みプラン』にも個別目標を掲げ、2015年度には「生物多様性ガイドライン」を策定し、社内の取り組み方向性、具体的取り組み内容などを定め、展開しています。

今後は周辺生態系との「共生」を図りつつ、企業としても成長し続けるため、策定したガイドラインに基づき、生物多様性に配慮した各種取り組みを推進していきます。同時に課題でもある社員の取り組み認知度や意識の向上を図るため、従業員参加型の活動を積極的に取り入れていく予定です。

生物多様性取り組み指針

- 製品環境技術の更なる追及
- 地域水資源への配慮
- 地道な環境取り組み(CO₂削減、省資源など)推進による生物多様性への貢献
- 社会との連携・協力
- 積極的な情報開示

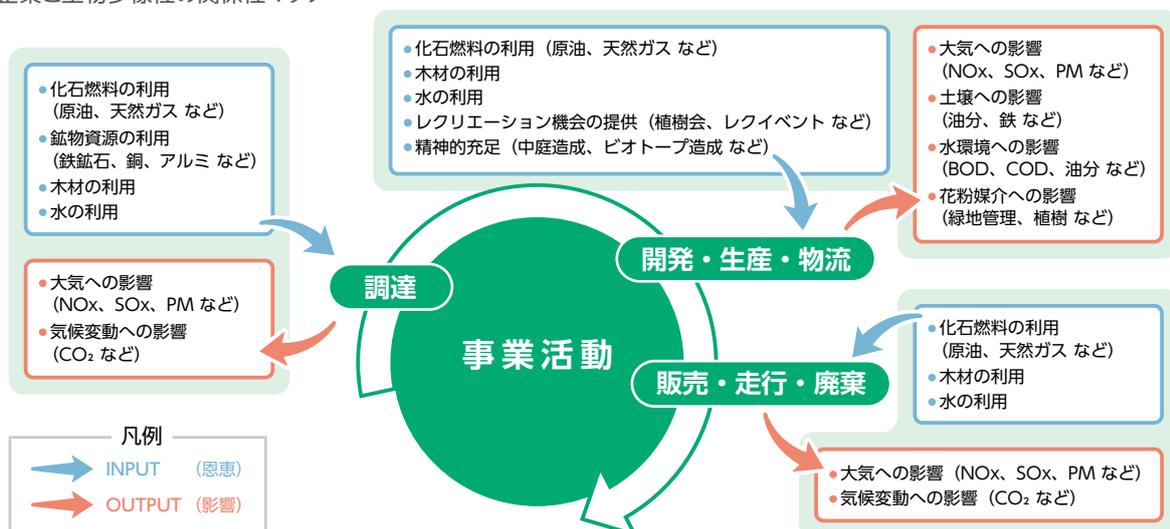
事業活動と生物多様性の関係整理

生物を守る

日野自動車は、『企業と生物多様性イニシアティブ(JBIB)』が定めた「企業と生物多様性の関係性マップ」(下図参照)を参考に、製品ライフサイクル各段階における「恩恵」と「影響」を整理しました。日野自動車は事業をおこなうなかで、製品ライフサイクル全体で自然の「恩恵」を受けており、また同時に「影響」を与えています。これらによる「生物多様性」への環境負荷を少しでも低減すること、周辺生態系を害さないことが、重要なポイントとなります。



● 企業と生物多様性の関係性マップ



会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

取り組み事例

生物を守る

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は開催できませんでしたが、これまでに実施した取り組みを紹介します。

◆生物多様性普及啓発、教育

本社・日野工場では、身近に住む生き物を知ってもらうため、日野市「カワセミハウス」にご協力いただき、地域に生息する鳥や爬虫類の剥製、昆虫や植物の種の標本などを展示した展示会を開催しました。

また、羽村工場では、羽村市環境保全課より講師を招き、生物多様性の意味から地域戦略、市内の貴重な生き物や取り組みなどについて紹介していただきました。

今後もこの活動を広めるべく、行政とも交流を図り、他事業所でも展開していきます。



展示会(日野工場)



羽村市の取り組みについての紹介(羽村工場)

◆地域の保全活動への参加

日野自動車創立70周年を記念した「日野自動車70周年の森(東京都青梅市御岳)」にて、植樹した木々の成長を助けるための「下草刈り」や子供達と一緒に「自然観察会」を行いました。また、東京都指定保全地域「立川崖線(全長約40km)」のうち、羽村工場近くにある「稲荷緑地」にて、羽村市や市民団体と一緒に「植樹や緑道整備等」を行いました。東京都に残された貴重な自然を守るべく、多様な生物の生息地として緑の保全活動に取り組んでいます。



青梅・御岳山での活動



羽村・稲荷緑地での活動

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

◆近隣小学校に向けた環境学習教室の開催

古河工場では、周辺河川に直結しているビオトープ化した工場内調整池において、近隣の小学生と一緒に水生植物の植栽と生物調査を行いました。

今年も多くの地域在来生物が確認され、豊かな生態系に囲まれていることを共有するとともに、今後も事業活動を続けていくなかで「周辺生態系への配慮を忘れてはならない」ことを再認識する場となりました。



調整池での調査

◆事務所周辺の地域清掃活動

日野工場、羽村工場、新田工場など国内事業所のみならず、国内・海外グループ会社でも事業所周辺の清掃活動を実施し、環境意識や通勤マナー向上を図るとともに地域に貢献しています。



青梅部品センター



パキスタン

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

法令順守

環境リスク管理

日野グループでは、事業活動をおこなう国や地域で求められている環境関連法規を順守するとともに、環境マネジメントシステムの目標に各種環境リスクへの対応を盛り込むことで、継続的な改善と取り組みの向上を図っています。トラック・バスの開発設計から調達・生産・物流・販売まで企業活動全般にわたって、環境リスクは存在しています。

日野自動車では、日野環境委員会のもと、7つの部会で環境関連のリスクや機会について、分析や評価をおこない、各環境部会長である担当役員とともに議論し、長期や短期の対応策を決め、実施しています。たとえば、法規制に関するリスクや機会であれば最優先で対応しています。また、商品性や生産性の向上の場合も環境法規制順守を前提として、費用対効果で判断し取り組んでいます。取り組み結果は、関係する環境部会に報告するとともに、必要に応じて上部会議体である日野環境委員会に報告しています。

◆環境リスク低減活動の実施

日野グループでは、環境リスク評価マニュアルをグループ内に展開し、環境リスクの洗い出しおよび対策を実施しています。

今回、自社羽村工場において、工場周辺の用途地域変更に伴う騒音規制値の変更により超過の恐れがあったため、騒音対策として作業エリアの変更や防音シートを設置するなど、環境リスク低減を図りました。

今後も環境リスクの洗い出し、改善を継続して実施することで地域の皆さまを含め環境に十分配慮した事業所を目指していきます。



建屋内壁に設置した防音シート

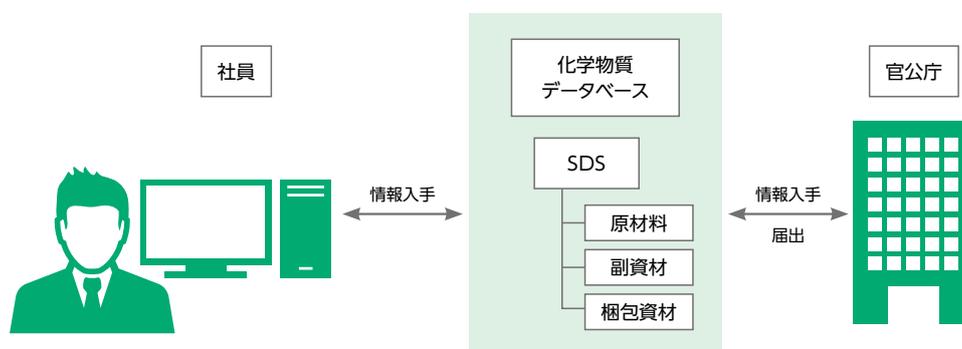
会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
 各種環境データ その他の活動

化学物質への取り組み

自社内で使用される塗料や副資材はすべてSDS (安全データシート) を入手し、データベース化しています。それらに含まれる化学物質を把握し、環境面・安全面で必要な対応が取れるよう、社員がパソコン上で閲覧できるように情報管理しています。

また、環境負荷物質規制は世界中に広まりつつあり、製品に使用される原材料や生産設備で使用される副資材、および梱包資材などに対しても化学物質管理を強化し、環境負荷物質を削減する動きを進めています。



会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

マネジメント

環境保全推進体制

日野自動車は、1993年3月に社長を委員長とする部門横断的組織として「日野環境委員会」を設置し、日野地球環境憲章に基づいて環境保全活動を推進しています。現在は、さらなる監督と執行の強化を図るべく、生産本部長を委員長として取り組んでいます。

日野自動車の環境保全活動の特徴は、製品開発や生産活動などの領域ごとに環境マネジメントシステムを展開している点であり、日野環境委員会の下部組織に、各部会（製品・生産・販社・本社・国内関連会社・海外関連会社・物流）を設置し、具体的な環境保全活動を推進していきます。

環境保全推進体制



会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
 各種環境データ その他の活動

環境マネジメントシステム

日野自動車では、すべての事業機能で環境マネジメントシステム(以下EMS)を構築し、各部の業務と環境保全を結びつけることで、実効性のあるEMSを運用しています。これらのシステムについては定期的に環境監査をおこなっており、システムの有効性を確保しています。

また、日野自動車では、日野グループとして、ISO14001の認証を取得しています。2020年度、外部審査において、認証に影響を及ぼす恐れがある不適合はありませんでした。これからも、本業業務とEMSの結びつきを強め、より積極的に環境への取り組みを進めていきます。

● ISO14001 認証取得状況

対象組織	認証取得日
本社・日野工場	2001年 3月24日
羽村工場	1999年 3月10日
新田工場	2000年 3月27日
古河工場	2019年 3月24日
青梅部品センター	2002年 1月11日
日高配車センター	2002年 1月11日
福島製鋼株式会社 吾妻工場	2003年11月28日
福島製鋼株式会社 相模工場	2005年 9月15日
理研鍛造株式会社	2002年 3月22日
株式会社ソーシン	2003年 3月14日
株式会社武部鉄工所	2001年 4月17日
株式会社トランテックス	2002年 3月 8日
明友機工株式会社	2002年 7月 5日
日野モータース・マニファクチャリング・タイランド株式会社	2001年 3月 1日
日野パック・モータース株式会社(パキスタン)	2001年 6月17日
日野モータース・マニファクチャリング・インドネシア株式会社	2005年 4月 4日
上海日野エンジン有限会社	2008年12月28日
日野モータース・ベトナム有限会社	2011年 2月28日
日野モータース・カナダ株式会社	2011年12月 1日
日野モータース・マニファクチャリング・U.S.A.株式会社 アーカンソー工場	2011年 4月13日
日野モータース・マニファクチャリング・U.S.A.株式会社 ウェストヴァージニア工場	2012年 3月15日
日野モータース・フィリピン株式会社	2017年 8月 8日
日野モータース・マニファクチャリング・マレーシア株式会社	2019年 1月18日
Jフィルター株式会社(タイ)	2016年 4月29日

会社情報	トップ メッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな 社会の実現に 向けて	日野の 環境経営	SDGsと 日野の戦略・ 取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

環境教育

保全活動

日野自動車では、効果的な環境保全活動を進めるため、社員の環境意識向上を目指して、環境教育・啓発活動を推進しています。

環境活動は企業として取り組むだけでなく、社員一人ひとりが職場や家庭でも取り組むことが大切であると考え、環境問題全般や世界の動向と取り組み、自分たちがやるべきことなどについて、積極的に社員教育に盛り込んでいます。

具体的には、新入社員教育や管理職研修プログラムに環境教育を組み込んでおり、今後もより広範囲で体系的な環境教育を実施し、環境意識の継続的な啓発に努めていきます。



教育の様子(2019年)
2020年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンラインにて環境教育実施

● 2020年度環境教育受講人数

(単位:名)

	事務・技術職	技能職	合計
受講者数	154	203	357

会社情報	トップメッセージ	HINO基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSRマネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

社外との環境コミュニケーション

保全活動

日野自動車はステークホルダーの皆さまとのコミュニケーションを重要視しています。お客様や地域の皆さまを含め、積極的に情報展開することで信頼される企業を目指します。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年度は開催できませんでしたが、これまでに実施した取り組みを紹介します。現在はオンラインイベント等を活用した情報展開を推進中です。

◆ 社外技術展での製品環境技術紹介

「自動車技術会 人とくるまのテクノロジー展2019：横浜・名古屋」において、最新の大型トラック用ハイブリッドシステム、最新の安全装備を搭載した小型トラック「日野デュトロ」などを展示し、安全・環境技術をはじめ、日野の先進技術開発やトータルサポートの取り組みを紹介しました。



出展ブースの様子

来場者の皆さまとの情報交換、意見交換を通じて日野自動車に対する御理解を深めていただくとともに、日野自動車の技術者にとっては、皆さまからの期待を知る大変に貴重な機会となりました。

◆ 地域環境イベントでの環境取り組み紹介

東京都羽村市で開催された「羽村市環境フェスティバル」、群馬県太田市で開催された「太田市産業環境フェスティバル」において日野自動車のさまざまな環境取り組みを紹介しました。工場周辺地域の環境イベントということもあり、地域の皆さまを中心に日野自動車の環境に関する考え方や実際の取り組みを広くPRすることができました。



「羽村市環境フェスティバル」の様子

◆ 近隣の小学校で出前授業

パキスタンでは、近隣の学校を訪問し、「Beat Plastic Pollution」と題し、地球環境問題について紹介しました。

また、アートクラフト作品を募集し展示会を開催し、身近な環境問題について学ぶ機会を提供しました。



近隣の小学校での環境教育

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

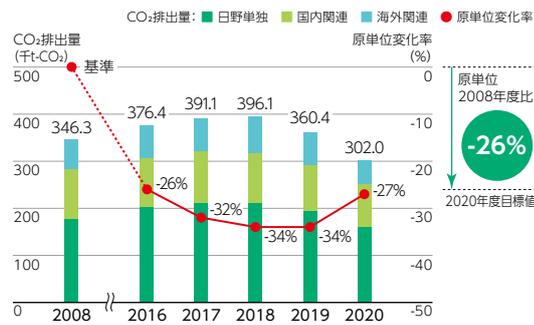
環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
各種環境データ その他の活動

各種環境データ

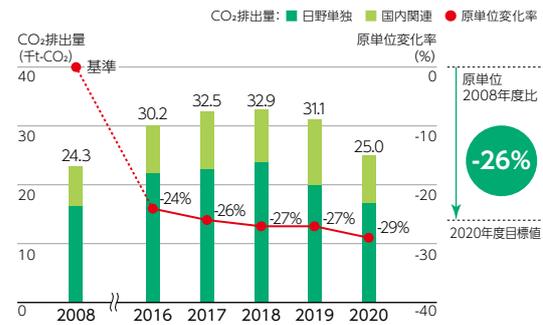
主要パフォーマンスデータ

日野自動車は生産活動にともなう環境負荷について、環境への取り組み実行計画「環境取り組みプラン」で具体的な削減目標を掲げ、細かな施策を積み重ねることでCO₂削減活動や省資源活動、節水活動などの低減活動に取り組んできました。以下のパフォーマンスデータは2016年度～2020年度のアクションプラン「2020年環境取り組みプラン」の成果を示すものです。有価物が廃棄物に変更されたことに伴い廃棄物量の増加・新型コロナウイルスの影響に伴う生産減による原単位悪化等により、廃棄物・水は目標未達となりました。「2025年環境取り組みプラン」の活動として引き続き、改善活動を継続していきます。

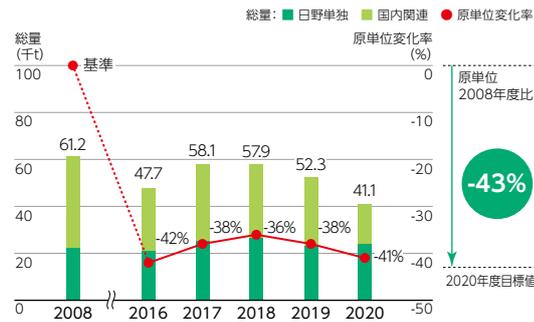
● CO₂排出量・原単位^{※1}(グローバル^{※4})^{※6}



● 物流CO₂排出量・原単位^{※2}(国内連結^{※5})



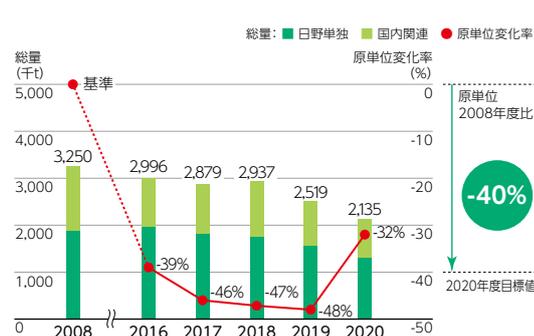
● 廃棄物総量・原単位^{※1}(国内連結^{※5})



● 梱包包装資材総量・原単位^{※3}(国内連結^{※5})



● 水使用量・原単位^{※1}(国内連結^{※5})



● VOC排出量(日野工場・羽村工場)

※2017年度より、古河工場を含む。



※1 原単位：1台当たり ※2 原単位：輸送量当たり 基準年の数値を見直したため、過年度の原単位変化率も適及修正しています。 ※3 原単位：出荷容積当たり ※4 グローバル：日野(日野、羽村、新田、古河の4工場)、国内関連会社6社、海外関連会社9社 ※5 国内連結：日野(日野、羽村、新田、古河の4工場)、国内関連会社6社 ※6 報告値、派生値、および入手可能なデータから算出された推定値です。実際の排出量は異なる可能性があります。

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み			
								環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
[各種環境データ](#) [その他の活動](#)

環境会計

日野自動車では、環境省の環境会計ガイドラインをもとに、環境保全コストと効果を集計しており、費用対効果を定量的に把握することで、効果的な環境投資と継続的な環境負荷の低減に役立てています。

2020年度の環境保全における、コストは総額334億円(前年比4%減)、経済効果は11億円(前年比28%減)でした。

● 環境保全コスト

(単位:百万円)

環境保全コスト 分類	2019年度		2020年度		主な取り組みの内容
	投資額	費用	投資額	費用	
(1) 事業エリア内コスト	496	714	0	255	
① 公害防止コスト	93	171	0	0	大気汚染、水質汚濁などの公害防止のためのコスト
② 地球環境保全コスト	341	186	0	0	省エネルギー設備などの地球環境保全コスト
③ 資源循環コスト	62	357	0	255	リサイクル、廃棄物の処理などの資源循環コスト
(2) 上・下流コスト	0	59	0	56	環境負荷を減らすための追加的コスト
(3) 管理活動コスト	0	393	0	432	EMS維持運用、情報公開
(4) 研究開発コスト	0	33,023	2,850	29,837	環境負荷抑制のための研究開発費
(5) 社会活動コスト	0	5	0	0	事業所外の自然保護、緑化、美化等の環境改善コスト
(6) 環境損傷対応コスト	0	0	0	0	
合計	496	34,194	2,850	30,580	

※ 環境対応とそれ以外の目的のものとの区別が難しい設備投資などについては、環境対応であることが明確に把握できる項目のみを計上しています

● 環境保全効果 (1) 環境保全対策に伴う経済効果

(単位:百万円)

	効果の内容	2019年度	2020年度
収益	リサイクルによる事業収入	1,376	1,086
	その他	0	0
費用節減	省エネルギーによるエネルギー費の節減	117	3
	省資源またはリサイクル活動による廃棄物処理費の節減	22	6
	その他	0	0
合計		1,515	1,095

※ 環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています

● 環境保全効果 (2) 物量効果

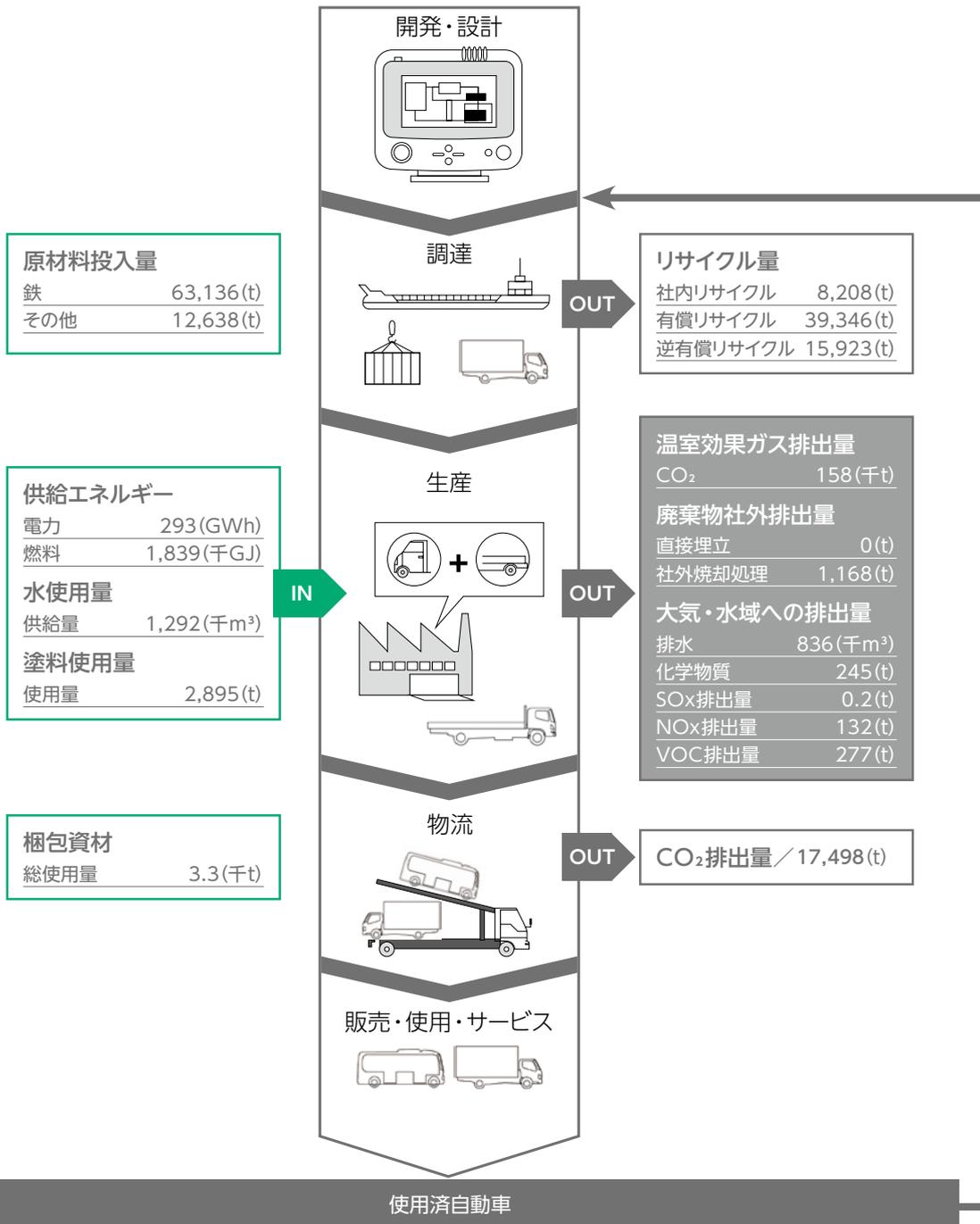
	2019年度	2020年度
CO ₂ 低減(t-CO ₂)	2,104	75
廃棄物低減(t)	490	1,527

※ 環境保全効果については、確実な根拠に基づくもののみを単年度効果として算定しています

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) | 2020年 環境取り組みプラン | 2025年 環境取り組みプラン | 6つのチャレンジ | 法令順守 | マネジメント
[各種環境データ](#) | [その他の活動](#)

マテリアルバランス

開発、設計から使用・廃棄にいたるまで製品のライフサイクルにわたる環境影響を把握し、どのプロセスでとくに環境負荷が高いか課題を明確にして、包括的に環境負荷の低減に向けて取り組んでいます。



※ データの集計範囲は日野・羽村・古河・新田の4工場です。
 報告値、派生値、および入手可能なデータから算出された推定値です。実際の排出量は異なる可能性があります。

会社情報	トップメッセージ	HINO 基本理念	サステナブルな社会の実現に向けて	日野の環境経営	SDGsと日野の戦略・取り組み	CSR マネジメント	トピック	ESGの取り組み		
							環境	社会	企業統治	ESGデータ集・その他

環境取り組みプラン(5ヶ年実行計画) 2020年 環境取り組みプラン 2025年 環境取り組みプラン 6つのチャレンジ 法令順守 マネジメント
 各種環境データ その他の活動

その他の活動

◆ライトダウンキャンペーンに参加

全国で一斉に消灯するキャンペーン「ライトダウンキャンペーン」に2007年から参加しています。一斉消灯時(毎年キャンペーン事務局が設定)はもちろん、キャンペーン期間中は継続して主要事業所の看板照明などを消灯しています。このキャンペーンには、国内販売拠点をはじめ、多くのグループ会社も参加しています。



羽村工場正門の点灯時



夜間消灯時

◆日野自動車グリーンファンド

日野自動車は、1991年に環境保全活動への助成をおこなう財団法人 日野自動車グリーンファンドを設立しました。財団は毎年15前後の団体に助成をおこなっています。その地道な活動が評価され、2005年度には環境大臣賞「環境保全功労者表彰」を受賞しました。また2011年4月1日をもって公益財団法人 日野自動車グリーンファンドになりました。今後も各種活動への助成・イベント実施等、地道ながら着実な活動を継続していきます。



「HGF昆虫採集」体験イベント
(新型コロナウイルス感染症流行前)

 [公益財団法人 日野自動車グリーンファンドのページはこちら](#)